

登録コード	E0700900	開講年度	2026				
授業科目	図画工作基礎 A					担当教員	中野 良寿
英文授業名	Basic Art and Handicraft A					副担当	
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	月曜・1時限		対象学生
講義室	教育N 1 0 6			授業形態	演習	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】		
	2 6 Eカリ, 2 5 Eカリ, 2 4 Eカリ, 2 3 Eカリ, 2 2 Eカリ, 2 1 Eカリ, 2 0 Eカリ						
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観				美術及び造形芸術についての幅広い知識、技能を養うとともに、現代の教育において果たす役割について理解することが出来るようになる。		
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能				図画工作科の授業を遂行する上で必要となる、専門的知識や技能について、指導要領に示された領域毎の活動を体験することで習得し、活用できるようになる。		
(2)授業で学べる「テーマ」	芸術文化						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	図画工作基礎に関わる知識習得や実技を行う。図画や絵画の基礎になる遠近法や陰影を習得するための課題、様々な観点からのドローイングやコラージュ、モダンテクニックなどを行う。						
(5)授業計画	第 1 回：ガイダンス 第 2 回：図画工作作品ポートフォリオについて 課題1(小物を描く)課題提出 第 3 回：造形遊び1 課題2(アースワーカー木で作るー素材研究) 第 4 回：造形遊び2 (アースワーカー木で作るー環境調査) 第 5 回：造形遊び3 (アースワーカー木で作るー表現研究) 課題提出 第 6 回：絵や立体1 課題3(部屋を描くー構想)*色鉛筆 第 7 回：絵や立体2 (部屋を描くーパースペクティブについて) 第 8 回：絵や立体3 (部屋を描くー描画) 課題提出 第 9 回：工作1 課題4 (偶然の形、水彩絵具・モダンテクニックを使った立体) 第10回：工作2 (偶然の形ー平面での演習) 第11回：工作3 (偶然の形ー立体化と見立て) 課題提出 第12回：鑑賞1 課題5(アースワーカー自然素材で作る) 第13回：鑑賞2 (アースワーカー作家事例から) 第14回：鑑賞3 (インスタレーション作家事例から) 課題提出 「授業アンケート」を行う。 教育実習による欠席は、別途補講を行う。						
(6)成績評価の方法	授業毎になされる活動の成果物・・・60% レポート・・・40% ・得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀, 89-80% 優, 79-70% 良, 69-60% 可, 59%以下 不可。						
(7)成績評価の基準	() 授業で示した用具及び素材の加工が適切であり、() 素材やその技法を効果的に生かし、() 基礎的造形性の把握ができており、() その上で造形表現における楽しさを受講生同士で共感し() 作品に主題が表現されていることで教員を感心させるレベルであれば「卓越している」。() から() の5項目を満たしていれば「かなり上にある」。4項目までできていれば「やや上にある」。3項目までできていれば「水準にある」。 得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀, 89-80% 優, 79-70% 良, 69-60% 可, 59%以下 不可。						
(8)事前事後学習の内容	課題テーマに関する基礎知識の習得及び、課題制作						
(9)履修上の注意	実技課題を伴う。授業で制作活動を行うための材料などについては、教員の指示に従って受講者それぞれで準備をすることが求められる。その際。材料費等は受講生の負担となる。材料、用具などを忘れた場合は授業に参加できず、欠席扱いとなる場合がある。						
(10)質問、相談への対応及び連絡先	090-9003-6944(中野)						
【教科書】	美術科教育の基礎 単行本 建帛社 文部科学省『小学校学習指導要領解説 図画工作編』						
【参考文献】	授業において都度指示する。						